



第1235号
2011年12月25日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB:http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL:comm.tko@nskk.org
Phone:03-3433-0987, Fax:03-3433-8678 Diocese Office

1月の代祷・信施奉献先
主教座聖堂の働きのため エル
サレム教区の働きのため 視覚聴
覚障害者伝道のため 聖救主福祉
会(深川愛の園・まこと保育園・
善福寺愛の園)のため タイチエ
ンマイのHIV/AIDSの方
々・難民・移民の自立支援のため
堅信受領
12月18日 池袋聖公会
大石緑(池袋)
教役者レクイエム
1月18日(水)10時半
主教座聖堂
説教 上田恵明司祭
司祭森舜道 司祭前島潔 主
教ケネス・アボット・ヴァイア
ル 司祭小島茂雄 司祭竹田真
二 司祭福島國五郎 司祭細貝
岩夫 司祭柳原光 司祭レイモ

ノド・ハンマー 司祭横地諫
主教黒瀬保郎 司祭佐藤裕
東日本大震災教役者聖餐式
15日(日)18時 主教座聖堂
1月聖路加国際病院礼拝堂
《夕の祈り》 11日(水)18時半
オルガン演奏に続き19時 演奏
八代紀子。無料(会場献金)。
1月フランチタイム・オルガン
コンサート * 聖パウロ 13日
(金)志賀菜穂美 * 聖テモテ 17
日(火)荻野由美子 * 神田キリス
ト 18日(水)花澤絢子。各々12時
20分から30分程度 入場無料。
1月銀座朝拝会 10・24日
(火)7時半。喫茶室ルノア
ル・ニュー銀座。照会 042
(796)1498・同世話人。
1月西新の会 10日(火)19時
半 聖餐式 聖書の学び(鈴木裕一

司祭 24日(火)10時半 聖書の
学び(田光信幸司祭。井草地域区
民センター。照会 03(3951)
5010・目白聖公会。
とこしえの平安
1月17日 植野 寿代(92)
聖マリーガレット
12月15日 阿部 彌生(101)
聖パウロ
12月19日 渋谷 順子(73)
聖ペテロ
12月20日 小林 トミ(82)
目白
12月20日 田邊敬四郎(97)
聖ペテロ
【休業・休刊】 教区事務所休業
12月30日・1月6日。教区時報
暫く休刊。教区の最新情報は週
刊「きょうくニュース」として1月
22日号からFax・Mail送信します。

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

クリスマスのお喜びをともにお祝いで
きますことを感謝します。都内の繁華街
では今年一年あつた悲しみや苦しみや困
難も忘れて浮かれているような人々もい
ます。震災の直後は絆を大切に
にとが、連帯しようと言つて
いた声が影をひそめてしまっ
ています。一方で教会では毎
日のように東日本大震災にお
いて被災された多くの方々の
ことを覚えて祈っています。
今もなお原発の事故は終わら
ず、いまだ行方不明の方々を
探し続けておられる姿や、困
難な中で必死に生きようとな
れておられる方々に出会う時
に、私たちは今日を素直に喜べない状況
にあることも確かです。教会とこの世界
との間の断絶を感じます。
神は私たちを愛し続け、私たちのため

《クリスマスメッセージ》
希望の光

に大きな犠牲を払つてこの世にくだつて
きてくださった。そのことを信じる時、
私たちはどんな絶望の中であつても私た
ちは希望を失つてはなりません。私たち
は暗闇の中に希望の星を見出す力を
与え続けられてきました。私はそれ
が聖霊の力というものであると思
います。それゆえに生き抜くことが
できたのだらうと信じます。私たち
は、イエスが暗闇の中に生まれ、支
えてくださったことを信じてい
くことができるようにと願います。
そのことのメッセンジャーとして、
今なお暗闇の中にいる人々に向かっ
て、希望の光が与えられることを体
現していくことがとても大切なこと
ではないでしょうか。クリスマスの喜び
を感謝しお祝いするとは、私たちが希望
の光を証し続けることにほかなりませ
ん。
(東京教区主教)

常置委員会報告(12月12日)

* 太田信三聖職候補生志願者から聖職候補生願いが出された。
聖公会神学院神学生霊的指導者(アナム・カミ)として笹森田鶴司祭・山野繁子司祭・上田恵明司祭が依頼されたことを了承。
来年2月10~11日開催予定の東京教区宣教協議会「だれと共に、どこへ行く?」で宣教方針について話し合いたいなどと主教報告。
* 財務諸表・各教区財政担当者協議会で教役者給与の教区間不均衡を助案し標準給与表作成をを目指す。管区宣教協議会で東京教区における教区間協働を報告など、各担当者報告を了承。

《教区新年礼拝》2012年1月7日(土) 13時 主教座聖堂
聖餐式 司式・説教 大畑喜道教区主教 式典長 下条裕章司祭

* 小笠原聖ジョージ教会隣地購入の承認を確認、そのために大齋克己献金伝道強化支援願いを管区へ提出。ストーゼンバック聖職候補生と話しあい、今後の見通しを聞いた。北海道教区から東京・横浜両教区へ釜石支援の依頼(聖職・信徒ボランティア)があり、12年3月11日(主日)の代祷を求め、など常置委員報告。

* 12年度各委員会・委員長人事の諮問へ答申。教会建築委員会委員任命を了承。
* 12年9月22日(土・休日)午後、教区合同礼拝と管区宣教協議会報告会を開催する。
* その他

信仰と生活委員会報告(12月13日)

* 宣教主事は各担当報告。
* 「ごころの聖歌」は3回のワークショップで19曲作成。伴奏譜付数曲を各教会へ配布する。
* 裸足の宣教の学びは諸教派から50人以上が出席した。講師の話をもCD化して各教会に配布する予定。
* 常置委員会推薦委員の入替に伴い、委員長が交代する。
* 委員長選出は委員の互選になるため1月の委員会は宣教主事によって召集される。

* その他
聖公会神学院入学試験 12年2月8日~10日、同院(学生寮に宿泊)。出願期日=1月31日正午。受験料=5万円。照会 03(3701)0575・同院。

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

【クローズアップ】 106

「だれと共に、

どこへ行く?」

日本聖公会は、管区レベルで2012年の9月に宣教協議会を行います。それに主体的に参加するために、東京教区では、2012年2月10日(金)~11日(土)に、富士箱根ランドスコーレプラザホテルにおいて「東京教区の宣教を考える会」を開催します。この会は、去る第117(定期)教区会で活動計画として開催が承認された、「東京教区宣教協議会」(仮称)の正式名称です。この会のテーマは、「だれと共に、どこへ行く?」と決まりました。教区の現状と課題を明確にし、共有するよい機会になると思います。

振り返って見ますと、東京教区ではこれまで「最も小さい者と出会う」という宣教方針を掲げてきました。しかしその「最も小さい者」が具体的に誰であり、彼らと共に何をすべきか、またどこに向かって進むべきなのか、まだまだ不明確だったのではないのでしょうか。

そんな中、今年3月11日、東日本大震災が起こりました。そこでは、2万人近い死者と行方不明者が出、家も生活手段も一切を奪われ、原子力発電所事故で土地を追われた人々も続出しています。ここには、「最も小さい者」が明確に示されています。

その人々と出会う中で、私たちの身の回りにも多くの「最も小さい者」が存在することに気

「最も小さい者」は、教会の内にも外にもたくさん存在します。それぞれの教会にあって、すでにそついった人々と共に、良き働きをしている事実も多いでしょう。しかし、今一度地域に目を開き、諸教会の知恵を寄せ集め、新しい宣教の課題を共に確認したいと思います。

2012年日本聖公会宣教協議会
東京教区準備委員会 委員長

司祭 神崎和子